

供養は責任を持って行いましょう

『分け位牌＝群馬県特有の風習』

{分け位牌}

分け位牌は故人のお位牌の分身で、縁故者の方が希望し供養したいと言う事で分けて頂くのですが、その縁故者が亡くなった時は、分け位牌も整理するのが望ましい形ではないでしょうか？（本家は代々供養していきます）

理由は、お子さん・お孫さん達の代になれば、疎遠になりがちな場合もあり、場合によっては、疎遠が故に知らない方のお位牌を供養する形になってしまう場合もある為です。

とくに女性の方は名字性が変わりますし、嫁ぎ先にお位牌を持ち込むと言う形にもなります、宗派も違う場合もありますが、置き方の序列にも困る方が殆どです。

（置き方は、宗派よりも菩提寺様により異なる場合が多いです）

{分け位牌の整理}

分け位牌は戴いた方が、故人となった時に整理するのが望ましいと想われます。

（ご心配な方は整理方法を菩提寺にご相談なされると良いでしょう）

（一部では棺と一緒にと言う場合もあります。）

ただし、これは事前に親族内で話し合いは必要であります、

決して無断で整理してしまわないよう注意が必要です。

なお分け位牌は群馬特有の風習であり、他県では分け位牌そのものが無い事から上記のような整理の仕方はありません。

また、近年は分け位牌をせず供養の度に、実家等に帰省して下さいと言う意味も含めて、分け位牌をしないと言う願いもありますが、情に厚い群馬県民ならではの、風習とも言われてきました分け位牌も、キチンと行えば良い供養と言われてます。

苦養とさせないように配慮しましょう。